

市町村制度融資担当者に聞く

中小企業の未来をひらく

板倉町
ITAKURA TOWN

制度融資

地方創生の流れの中で、地域経済において市町村が果たす役割が、これまで以上に大きくなってきています。本連載では、群馬県内各市町村の、制度融資担当者に登場していただき、制度融資を中心に、中小企業施策全般について、考え方や方向性、具体的な施策等をお伺いします。
今回は、板倉町産業振興課商工誘致推進室を訪れ、齋藤係長と荻野主事にお話を聞いてきました。



GUEST

齋藤康裕 様

産業振興課商工誘致推進室
商工観光係 係長

荻野晃生 様

産業振興課商工誘致推進室
商工観光係 主事



産業振興課商工誘致推進室の皆さま
後列左から、荻野主事、宇治川主任、山岸主任、
高久主事
前列左から、齋藤係長、橋本室長、蓮見さん

Q. 中小企業施策の基本的コンセプト・考え方等をお教えてください。

板倉町は群馬県の最東南端に位置し、埼玉県と栃木県の県境に接しています。町の南側には利根川が、北側には渡良瀬川が流れており、町の東側には2012年にラムサール条約登録湿地となった渡良瀬遊水地に接しています。

町の総面積のうち約55パーセントを農地が占め、豊かな水と平坦な地勢、温暖な気候を利用し、水田や畑が多く農業が盛んな町です。特に「きゅうり」は、ハウス栽培の普及や、東北自動車道による都心への交通アクセスの良さにより出荷量が多く、板倉町の名産となっています。

町内にはかつて、河川や池沼が多く点在していたため、川魚が獲れることから、川魚料理店も多く所在していました。現在では4店の川魚料理店があり、板倉名物として「なまず」を楽しむに來町する方もいらっしゃいます。また、町の水文化を楽しむイベントとして「群馬の水郷 揚舟 谷田川めぐり」を実施しています。利根川に並行して流れる谷田川で、船頭が一本の竹ざおを使い、木製の「揚舟」を鮮やかに操船しながら、2kmのコースを約1時間かけてゆったりと周遊します。「揚舟」とは、普段は家の軒下に吊り下げ、水害発生時に移動手段として使う舟です。こちらのイベントは、日頃の喧騒から離れ、自然をゆっくり感じる事ができると好評を頂いています。

また、最近では「三県境」が注目を集めています。三県境とは、3つの県で構成される1箇所の境界のことです。三県境は全国で40カ所以上ありますが、そのほとんどが山の山頂や尾根であったり、河川上であったりと、歩いて行けるところにありません。しかし、ここ群馬県板倉町、栃木県栃木市、埼玉県加須市の三県境は平地にあり、全国で唯一といえる、「歩いて行ける三県境」となっています。

中小企業施策としては、制度融資を中心に創業支援や新技術開発の推進などを行っています。しかし、町内中小企業者は、後継者不在や人口減少による市場の縮小など、今後、事業を継続するための課題があります。

Q. 中小企業向け制度融資メニューをお教えてください。

板倉町では、運転資金・設備資金調達のために県と町が連携した制度融資「小口資金制度」を実施しています。融資限度額は1,250万円、融資期間は運転資金が6年以内、設備資金が8年以内（それぞれ据置き期間は6年以内）です。これまで、融資利率は3%となっていたことが、平成30年9月1日より1.8%へ引き下げ、町内中小企業者にとってより使いやすい内容へ変更しました。

主な制度融資の保証実績 (単位:件、千円)

制度名	年度	保証承諾		保証債務残高	
		件数	金額	件数	金額
小口資金	29年度	0	0	5	3,117
	30年9月末	2	5,000	2	2,077

Q. 制度融資以外の、中小企業や創業者向けの施策を教えてください。

創業支援事業

板倉町では創業支援事業として商工観光係に連絡窓口を設置し、商工会・町内金融機関と連携し相談者に応じた支援を行える体制を整えています。また、群馬県商工会連合会が開催する創業塾受講者で、認定創業支援事業による支援を受けた方に証明書を発行しています。これにより、会社を設立する場合にかかる登録免許税の軽減などの支援を受けることができます。

板倉町住宅リフォーム支援事業

町内経済の活性化と住環境の質の向上を図るため、町内施工業者により住宅のリフォーム工事を行った町民に対し、経費の10%（最大10万円）を補助しています。

ぐんま新技術・新製品開発推進補助金

町内中小企業者の開発意欲を喚起し、その競争力強化と発展を図るため、県と町が連携し、町内中小企業が行う新技術・新製品に関する開発費へ補助対象経費から20万円を差し引いた残額（最大80万円）の補助を行っています。

Q. 今後の中小企業施策や制度融資に対する思いを教えてください。

全国的に人口が減少しており、将来、板倉町の人口においても減少は避けられない課題であり、転出抑制と転入促進策が必要となります。現在、板倉町では板倉ニュータウンの住宅地分譲を行っています。

板倉町では子育て支援金の交付や町内小中学校の学校給食費の無料化など子育てしやすい環境を整えています。

また、板倉ニュータウン産業用地や商業系用地への企業誘致を行っています。東北自動車道「館林インターチェンジ」まで約10分、そこから東京都心まで約60km、約1時間と良好な交通アクセスがありますので、ぜひ興味のある方はご相談ください。

板倉町が行っている施策が中小企業者のみなさんへ伝わり切れていない部分があります。周知について、商工会や町内金融機関、関係団体と連携し十分に行きたいと思います。

また、中小企業者が望む施策をすべて実施できているわけではありませんが、町内経済の持続・発展を図るため、関係機関と協力し、町内企業への支援に取り組んでいきたいと思っています。